

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年4月2日（月）～4月8日（日）〔平成24年第14週〕の感染症発生状況

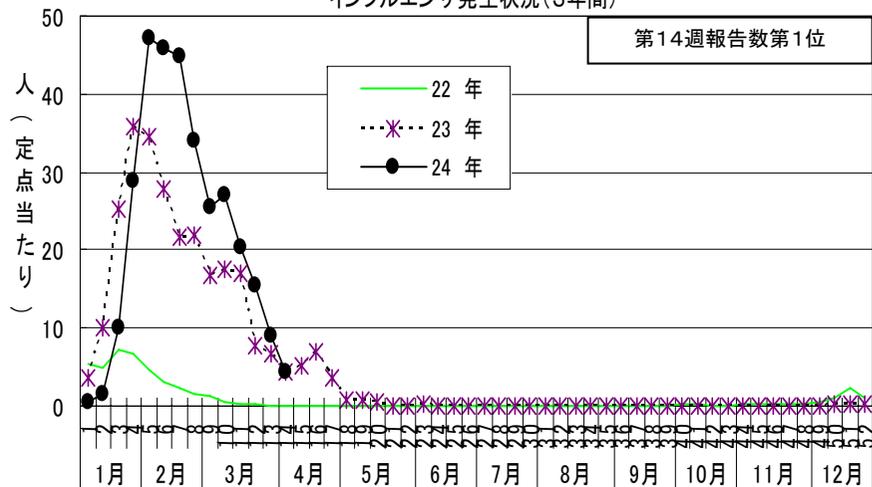
第14週で定点報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎は定点当たり9.61人と前週（8.03）より患者報告数は増加しており、例年よりも高いレベルで推移しています。

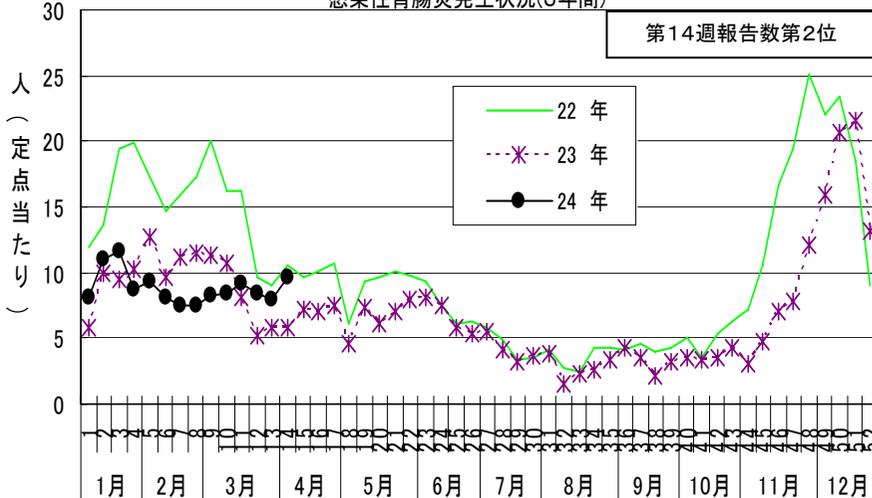
インフルエンザは定点当たり4.44人と前週（9.28）より患者報告数はさらに減少しましたが、もうしばらくは予防対策の徹底が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.00人と前週（0.64）より報告数は増加していますが、例年を下回るレベルで推移しています。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



～ポリオ(急性灰白髄炎)予防接種(春)～

川崎市では、予防接種法に基づき、春と秋に生ワクチンによるポリオの予防接種を実施しています。新年度を迎え、保育園等で新たな集団生活が始まる時期ですので、対象の方はこの機会に予防接種を受けましょう。

川崎市ポリオワクチン接種情報

※予防接種に関するお問い合わせは各区役所保健福祉センター地域保健福祉課へ御連絡ください。

接種時期

春と秋に実施しており、春は4月から6月にかけて実施します。接種の受付時間は午後1時から午後2時50分までです。接種場所や持ち物などの詳細についてはお問い合わせください。

注意事項

BCG、麻しん・風しんの予防接種から27日以上、ジフテリア・百日せき・破傷風の3種混合、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌の予防接種から6日以上あけてください。

対象者

生後3か月から7歳6か月に至るまでの間の方で2回接種の済んでいないお子さんが対象です。

昭和50～52年生まれの方は、ポリオの免疫保有率が低いことから、お子さんと一緒に予防接種を受けることができます。御希望の場合は事前に各区役所地域保健福祉課までお問い合わせください。

接種後2～4週間にわたって、予防接種を受けた人の便やよだれの中にウイルスが排出されます。このウイルスが、免疫を持っていない人（ワクチン接種していない人など）に感染（2次感染）することが極めてまれにあります。そのため、オムツ換えなどの後には、十分に手洗いをするなど注意してください。



発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター（保健所）
（問い合わせ先） 044-200-2412